2023 年 12 月 24 日　クリスマス礼拝　式文

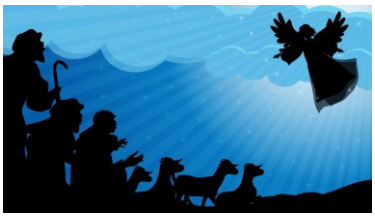
●『讃美歌』１１４番

１．あめなる神には　みさかえあれ　地にすむ人には　やすきあれと
　　みつかいこぞりて　ほむる歌は　静かにふけゆく　夜にひびけり
２．今なおみつかい　つばさをのべ　つかれしこの世を　おおい守り
　　かなしむ都に　悩むひなに　なぐさめあたうる　歌をうたう
３．重荷をおいつつ　世のたびじに　悩めるひとびと　かしらをあげ
　　はえあるこの日を　たたえ歌う　楽しき歌声　ききていこえ
４．みつかいの歌う　やすききたり　ひさしくせいとの　まちしくにに
　　主イエスを平和の　きみとあがめ　あまねく世の民　たかく歌わん
　　アーメン

●アドベントの祈り

司式：「身を起こして頭を上げなさい。あなたがたの
　　解放の時が近いからだ」（ルカによる福音書 21 章 28 節より）
一同：命の源である神よ。
司会：アドベントのろうそくに灯火が４本ともされました。
会衆：この礼拝に招いてくださり、感謝します。

司式：この光に照らされて、あなたの救いを思います。
　　あなたは罪の結果である死と滅びから、わたしたちを解放してくださる方です。
会衆：しかし、わたしたちは救われた命を忘れ、自ら死と滅びの奴隷にもどってしまいそうになります。
司式：わたしたちをゆるし、あなたへと立ち帰らせてください。
会衆：永遠の命の信仰を強く信じさせてください。
一同：闇を照らす光、キリストによって。



牧師：御子を救い主として世に送ってくださった父なる神様･･･････
　　･･････主イエスの御名によって祈ります。
一同：アーメン

●『イザヤ書』７章１０～１４節

10 主は更にアハズに向かって言われた。11 「主なるあなたの神に、しるしを求めよ。深く陰府の方に、あるいは高く天の方に。」12 しかし、アハズは言った。「わたしは求めない。主を試すようなことはしない。」13 イザヤは言った。「ダビデの家よ聞け。あなたたちは人間に／もどかしい思いをさせるだけでは足りず／わたしの神にも、もどかしい思いをさせるのか。14 それゆえ、わたしの主が御自ら／あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産み／その名をインマヌエルと呼ぶ。

●『ルカによる福音書』２章１～７節

1 そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。2 これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。3 人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。4 ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。5 身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。6 ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、7 初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

●『交読詩編』１１３編１～９節

一同　ハレルヤ。

司式　主の僕らよ、主を賛美せよ。

会衆　主の御名を賛美せよ。

司式　今よりとこしえに／主の御名がたたえられるように。

会衆　日の昇るところから日の沈むところまで／主の御名が賛美されるように。

司式　主はすべての国を超えて高くいまし

会衆　主の栄光は天を超えて輝く。

司式　わたしたちの神、主に並ぶものがあろうか。

会衆　主は御座を高く置き、なお、低く下って天と地を御覧になる。

司式　弱い者を塵（ちり）の中から起こし／

会衆　乏しい者を芥（あくた）の中から高く上げ

司式　自由な人々の列に／

会衆　民の自由な人々の列に返してくださる。

司式　子のない女を家に返し／

会衆　子を持つ母の喜びを与えてくださる。

一同　ハレルヤ。

●『讃美歌２１』２６２番

１．聞け、天使の歌、「み子には栄光、地には平和あれ、世の人々に」
　ダビデの村に　生まれしみ子を　世界の民よ　共にあがめて　聞け、喜びの　おとずれの歌
２．み子キリストこそ　とわにいます主　神の時満ちて　おとめに宿り
　人となりたる　神のみことば　インマヌエルの主　今宵うまれぬ　聞け、喜びの　おとずれの歌
３．光をもたらす　義の太陽よ　救いと命と平和のきみよ
　死すべき人を　生かすためにと　み子はうまれぬ　まぶねの中に　聞け、喜びの　おとずれの歌

●『讃美歌２１』２４７番

１．今こそ声あげ　よろこんで歌え　みどりごイエスは　貧しいまぶねに
　朝日のように　明るく輝く　アルファ、オメガ、永遠の主
２．いと高き神の　み子をほめ歌え　恵みあふれる　幼子主イエスは
　嘆き悲しむ　われらをなぐさめ　主のみ国を　示される
３．まことに大きな　み父の恵みよ　罪にまみれた　われらをあわれみ
　み子をつかわし　えいえんの国へ　導かれる　神の愛
４．喜びの歌は　天に鳴り響く　み使いたちも　聖徒たちも皆
　歌う賛美に　われらも声あげ　とこしえまで　ほめ歌う

●『讃美歌２１』８１番

１．主の食卓を囲み　いのちのパンをいただき　救いの杯を飲み　主にあってわれらはひとつ
（くりかえし）　マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国が来ますように
　　マラナ・タ、マラナ・タ、主のみ国が来ますように
２．主の十字架を思い、主の復活をたたえ　主のみ国を待ち望み　主にあって我らは生きる
３．主の呼びかけにこたえ、主の御言葉に従い　愛のいぶきに満たされ　主にあって我らは歩む

●『讃美歌２１』２５番

１．父・子・聖霊に　みさかえあれ　はじめにありて今もあり　とわにいます主をたたえん　アーメン